

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

平成から新しい年号に変わる年を迎えました。新しい時代、そして今年が平穏で自然災害の少ないことを念じつつ、国内外の防災・減災活動に邁進する所存です。

振り返れば、昨年は6月18日に発生した大阪府北部地震に始まり、7月初旬に広範囲の被害をもたらした西日本豪雨災害、9月4日に上陸した平成30年台風21号による強風・高潮災害、9月6日に発生した北海道胆振東部地震など、連続する自然災害に見舞われた年でした。現在も、復旧活動およびその支援活動に携わられている皆様にとって早期に復旧がなされる年になることを祈念しております。

防災学術連携体では、昨年夏以降の連続的に発生した自然災害の重大さに鑑み、日本学術会議の防災減災学術連携委員会と共催で、今年の3月12日(火曜日)の午前10時から午後17時30分に、「平成30年夏に複合的に連続発生した自然災害と学会報告」と題してシンポジウムを日本学術会議にて開催いたします。各学会からの報告がございますので、ご参加いただければ幸いです。

防災学術連携体

代表幹事 米田雅子 (日本学術会議会員、慶應義塾大学特任教授)

代表幹事 古谷誠章 (日本建築学会会長、早稲田大学教授)



「日本学術会議学術フォーラム/第7回防災学術連携シンポジウム」

テーマ：「平成30年夏に複合的に連続発生した自然災害と学会調査報告」

趣旨：本シンポジウムでは、主に平成30年の夏に複合的に連続発生したこれらの自然災害に焦点を当て、各学会の調査報告を行います。さらに、今後、連鎖する気象災害にどう備えていけば良いのか、地震と気象災害などの複合災害にどう備えれば良いのかを議論します。 ※当日の発表資料は防災学術連携体ホームページに後日掲載します。

参加費：無料

日時：平成31年3月12日(火) 10時~17時30分

場所：日本学術会議講堂 / 主催：日本学術会議、防災学術連携体 / 企画：日本学術会議 防災減災学術連携委員会、土木工学・建築学委員会、防災学術連携体

詳細：http://janet-dr.com/060_event/20190312/190312_000_leef.pdf / 申込み：<https://ws.formzu.net/fgen/S44714662/>

防災学術連携体の新規参加学会

防災学術連携体の構成学会数が56学会から57学会に増える予定です。新規参加学会(水文・水資源学会)は、2月の幹事会で正式に承認されます。

平成30年10月13日、14日に防災推進国民大会2018のセッションとして第6回防災学術連携シンポジウムを開催しました。

シンポジウムは一般市民の皆様を含め500名を超える参加者を得て、成功裏に終了しました。発表資料やポスターのPDFは下記のURLでご覧いただけます。

http://janet-dr.com/060_event/20181013.html

なお、今年の防災推進国民大会は伊勢湾台風からの60年を祈念して名古屋で開催されることになりました。



防災学術連携体の今後の予定

防災学術連携体の総会を6月13日(木)の午前中に開催予定です。昨年度と同様に日本学術会議・学協会・府省庁との連絡会も開催する予定です。

防災学術連携体幹事・事務局長

田村和夫(日本学術会議連携会員)

小野寺篤(日本建築学会 事務局長代理) 防災学術連携体事務局

website@janet-dr.com

担当：麓 絵理子(フモト エリコ)、小野口弘美(オノグチ ヒロミ)

・ニュースレターの配信依頼、配信解除もここにご連絡下さい